

本日、卒業される 30 名の皆さん、誠におめでとうございます。そして、今日まで支えてこられた保護者の皆さまにも、お慶びを申し上げます。

また、お忙しい中、ご臨席を賜りました鈴木市長をはじめ、ご来賓の皆様には、教職員を代表致しまして御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

コロナ禍の中ではございますが、本日このような卒業式を挙げてきます事を心よりうれしく思い、皆様に感謝申し上げる次第でございます。

さて、卒業生の皆さんは、本当に大変な 3 年間を過ごされたと思います。3 年前の 2020 年 3 月より、新型コロナウイルス感染症の「コロナ」と、災いを示す「禍」ということばが複合され、「コロナ禍」という言葉が使われ始めましたが、これまでに日本国民の約 4 分の 1 にあたる 3,320 万人の方が感染され、7 万 2 千人の方がお亡くなりになりました。まさに、100 年に一度とも言われる世界的な感染症であるコロナ禍に対し、卒業生の皆さんは良く耐え、所定の教育課程を無事修了されました。国家試験直前の年末

年始には、そのコロナ感染症の第8波により、通常よりストレスの多い日常を過ごされたと思いますが、全員が無事に国家試験を受けることができました。本当によく頑張ったと思います。

本来なら、この3年間は人間関係の構築に最も大切な時期であると考えますが、皆さんは密閉・密集・密接からなる三密を避けるため、満足のいく学生生活が送れなかったのではないかと思います。誠に申し訳なく思っています。

授業はオンライン授業が多くなって聞き取りにくくなり、わからないことがあってもすぐに質問ができず、理解不足のまま次の授業を受けるなどの悪循環が生まれたのではないかと危惧しております。また、臨地実習も減り、計画通りの実習経験を積むことができなかったために、将来の看護医療に対する不安をお持ちのかたもおられるのではないかと懸念しております。

本来なら楽しいはずの友達作りも満足に行えず、この3年間、皆で盛り上がることもなかったのではないかと思います。コロナ禍による経済の悪化によりご家族からの仕送りも減ったかもしれ

ません。人間関係のストレス増大による体調不良を自覚された方も多かったのではなかろうかと思います。

しかし、その反面、実習先の患者さんも家族に会えない淋しさから、看護学生への親しみがより強くでたこともあったでしょうし、感染予防の重要さや、コロナ禍で奮闘する医療従事者を目の当たりにして、その役割について改めて再認識でき、早く看護師になりたいというモチベーションがより強くなったのではないかと思います。

これまでに、コロナで壊された「人と人のつながり」を回復しつつ、新たな With Corona 時代の社会を創造していくことがこれから求められています。どうか、卒業生の皆さんは、これまで学んだ知識と技術を持って、コロナに負けない、新たな「人と人のつながり」のあるネットワークを、医療現場において構築して頂きたいと願っています。

もう一つ、卒業される皆さんにとりましては、とても辛い教育環境があったことを本校着任後に知ることになり、校長としてここに改めてお詫び申し上げます。昨年6月に報道された本校のハラスメ

ント事案に関しまして、昨日も3年生のかたには説明会を開き、鈴木市長が書かれました報告書を説明致しましたが、調査報告がこの年度内にまとまらないことはたいへん残念であり、かつ皆さんにはたいへん申し訳なく思っております。

ただ、このような経験からわれわれも多くのことを学び、明るく開かれた教育環境を取り戻すべく、数々の改革を行って参りました。ハラスメントに関与した両者を合わせることもないよう配慮し、教員に対するハラスメント研修を昨年より始め、外部の臨床心理士による相談窓口の開設や校長室前の投書箱の設置を行ってまいりました。

今後は、この4月という年度初めの時期をチャンスと捉え、教員と生徒がオープンに懇談する場があいにく本校にはございませんので、事務室横の会議室を開放したいと考えております。また、教員の室の配置換えも随時行い、ハラスメントが起きにくい環境を作りたいと考えています。さらに、教員に対するハラスメント研修だけでなく、学生にもハラスメントの研修を受けてもらって、その実態

を理解してもらい、より良い教育環境を創設するつもりであります。

ぜひ、卒業生の皆さんには、患者さんやそのご家族から感謝の言葉をいただけるような人間性豊かな看護師になっていただき、チーム医療の一員として職場に溶け込んでいただきますよう、祈念いたしております。もし、困った場合は、いつでも相談に乗りますので、本校の門をたたいていただければと思います。

最後に、ご臨席の皆様方には、今後とも本校の教育活動にご理解とご支援を賜りますことをお願い申し上げますとともに、社会人として旅立つ卒業生の皆さんのご多幸を祈念申し上げ、私の挨拶に代えさせていただきます。

本日はどうもありがとうございました。

蒲郡市立ソフィア看護専門学校

学校長 中西良一